業務委託仕様書

I 業務の概要

1 委託業務名

三角西港世界文化遺産登録10周年記念 食と体験の創出事業

2 目的

市の魅力ある食材をPRし付加価値を高めるとともに、世界文化遺産登録10周年を迎える「三角西港」をPRするイベント開催することで、本市を訪れるきっかけが生まれ、交流人口の拡大、市の魅力向上を図る。また本市の「滞在時間が短い」という課題を解消するために、体験コンテンツの造成、既存の磨き上げを行うことで「宇城市」の観光目的の旅行客のモデルコースとして、さらなる経済効果を目指す足がかりとなる事業にする。イベントの中では三角西港10周年を記念する装飾や広報を行い、景観や歴史的価値を発信することで三角西港を通して、地域住民と観光客・訪問客が繋がり、にぎわいや新たなコミュニティが生まれる空間の創出を図る。

3 委託期間

契約締結日の翌日から令和7年12月22日（月）までとする。

4 地域の課題

平成27年に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして登録された「三角西港」は、世界文化遺産登録時は年間約50万人の集客があったが、平成30年には約20万人程度に半減し、コロナ禍でさらに減少した。現状、集客は戻りつつあるものの三角西港内及び周辺には、飲食スペースや体験コンテンツが少なく、さらには利用者の多くは、天草への行き帰りの途中でのトイレ休憩として利用されている。そのような現状を分析すると、この世界文化遺産は観光客や訪問客にとっての「目的地」となっていないことが、滞在時間を短くさせており、結果的には、地元経済の収益減少を招くという負の連鎖を起している。

本市としても、世界文化遺産登録10周年を迎える「三角西港」を地元及び周辺地域の経済再生の一端を担える観光資源としてどう生かしていけるかが大きな課題である。

5 委託業務の内容

(1) 全体概要

世界文化遺産登録10周年を迎える三角西港は、かつては石炭を海外へ輸出する拠点として機能していた。その歴史やルーツに触れながら、地元シェフ・事業者・生産者が連携した宇城市の食材をメインとしたバーベキュー等のセット開発、開発したお披露目を三角西港での提供も含め、2日間限定で行う。また三角西港を中心とした体験コンテンツの造成、既存の磨き上げを行い、バーベキュー等のセットのお披露目と、同日に体験をしてもらい、モニターを行うことで、次年度以降に繋がる内容を目指す。

ア コンセプト

- (ア) バーベキュー等のセット開発と関連イベントに関わる基本業務
 地元の農家や漁師、生産者の意見を取り入れた、素材の選定を行い、宇城市らしさを前面に押し出した、地元のこだわりが詰まったものを目指す。また飲食の体験を通して、三角西港の景観を楽しんでもらうことに重点をおく。
- (イ) 体験コンテンツの造成・既存の磨き上げ
 市の滞在時間が少ないという課題を解決するために、三角西港を中心とした周遊を視野にいれる。また総じて次年度以降も継続して利用できるコンテンツとなるものを目指し、事業内でも磨きあげを行う。
- (ウ) ターゲット
 本事業は、食に関心のある30代～50代のファミリー層をメインターゲットとして、インバウンド効果等も視野に入れ実施する。

(2) 想定内容

イベントの実施概要は以下のとおりである。

ただし、以下の想定日時、形式は参考であり目標人数を達成できれば内容は委託者と協議のもと変更も可能とする。

イベント名称	UKI beer port in 三角西港 (仮称)
想定日時	令和7年9月～10月中旬 2日間限定 各日2回開催想定 海コース (海に関する体験+三角西港でのバーベキュー等) 山コース (山に関する体験+三角西港でのバーベキュー等)
開催場所	宇城市三角西港一帯 (所在地：宇城市三角町三角浦1230番地22周辺、 浦島屋利用予定)
参加形式	完全予約制
参加者 (目標)	100名以上
参加徴収費(会費)	上限：2,230,000円 (税込) 【例1】2,230,000円 海コース 10,000円/山コース 10,000円 計223名 【例2】840,000円 海コース 7,000円/山コース 7,000円 計120名 ※上記の例はあくまでイメージとし、その他想定や提案の変更も自由とする。
補足	参加者は体験、食事の時間に加えて、三角西港を観覧する時間を設ける想定。

II 事業内容

1 事業連絡体制の確立

- (1) 受託者は、契約締結後、速やかに本業務の統括責任者及び委託者との連絡調整窓口にあたる人員を選定し、氏名及び連絡先（電話番号、メールアドレス等）を委託者に報告すること。
- (2) 統括責任者は、委託者と緊密に連絡及び調整を図るとともに、委託業務の処理に必要な人員を確実に確保するなど、トラブルが生じた場合においても迅速に対応できる体制を構築すること。
- (3) 業務の過程において統括責任者及び連絡調整窓口にあたる人員を変更する場合等には受託者は速やかに、その旨を委託者へ連絡すること。

2 イベント概要の確定及び事業運営進行管理

- (1) 受託者は、委託者のコンセプトを基にイベントの名称及び実施概要を含む全体を企画、確定し、委託者と打ち合わせのもと実施に向けた体制を整えること。
- (2) 全体のスケジュールを作成し、実施内容ごとの進行管理を行うこと。

3 バーベキュー等のセット開発

- (1) 宇城市の食材を活用したバーベキュー等のセット開発を行うこと。
三角西港世界文化遺産登録10周年にちなみ10種類の食材を使用するものとし、開発したものは2日間限定開催のUKI beer port in 三角西港（仮称）で参加者に向けて提供を行う。開発における必要事項は次のとおりとする。
 - ア 市の食材を使用すること。
 - イ 地元事業者、生産者との連携を図ること。
 - ウ コンセプトを決め、魅力ある内容にすること。
 - エ バーベキュー等のセットのロゴ又はデザイン制作を行うこと。
 - オ 継続的な販売も視野に入れ開発を行うこと。
 - カ 生産者との連絡調整、金額の交渉等は受託者が行い、進捗報告は委託者が必要とする回数行うこと。
 - キ 食材の協賛等を受ける場合は委託者に確認をとり慎重に行うこと。
 - ク 試作に関する食材費に関しても委託費に含める。
- (2) バーベキュー等のセットの開発において監修できる有識者又は料理人を起用し、依頼から調整までの全ての業務を行うこと。起用における必要事項については以下の各号に掲げるとおりとする。
 - ア 宇城市在住又は出身の料理人を1名以上起用すること。
 - イ 開発において、生産者や事業者との交流を行い、食材の視察や厳選を行う機会を必要回数設けること。
 - ウ 開発したバーベキュー等のセットをイベント当日に提供できること。
 - エ イベント開催、申請に係る必要資格を有していること。

- オ その他必要に応じてイベントの付加価値を高める料理や情報を参加者に提供できること。
 - カ 料理人の旅費、宿泊費、報酬等その他経費は委託費用に含む。
- (3) バーベキュー等のセットに加え、地元ゆかりのあるアルコール・その他飲料の提供を行える体制を整えること。

4 体験コンテンツの造成

- (1) 宇城市の周遊することを想定した体験コンテンツの造成を行うこと
体験はUKI beer port in 三角西港（仮称）で参加者が実施することを想定し、調整を行う。造成にあたっての必要事項は次のとおりとする。
- ア 海・山に関連するもの各1種以上考案すること。
 - イ 地元事業者と連携をして開発すること。
 - ウ 参加者の安全に配慮すること。
 - エ 継続的な実施を視野に入れ造成を行うこと。
- (2) 体験は新規造成の他に既存の磨き上げを行うこと。
既存の体験コンテンツを情報として集約し、必要に応じて磨き上げを行うこと。イベント時に各1種以上体験に組み込むこと。

5 運営スタッフの手配

- (1) 受託者はUKI beer port in 三角西港（仮称）に必要なスタッフを必要人数手配すること。
- (2) 体験コンテンツを実施する場合にインストラクターが必要な場合は手配を行うこと。

6 宇城市内関係機関との連携

- (1) 受託者は宇城市内の教育機関や関係各所との連携を委託者が求めた場合は、受託費の範囲内で連携を図り事業の進行を行う。
- (2) その他進行の中での協力の申し出があった場合には委託者に確認後、積極的な連携を図ること。

7 調理場所確保・備品の調達

- (1) 受託者は、委託者が指定するエリアでイベントの実施に係る連絡、調整を行うこと。その他開催場所の候補がある場合には提案を妨げることはない。
- (2) 調理場所は会場、又は近隣のエリアで受託者が確保すること。
- (3) イベントの進行に係る調理スペース、バーベキュー等のイベント開催に係る会場のレイアウトを行い、必要な備品（テーブル、イス、バーベキュー等の提供セット、冷蔵庫、冷凍庫、その他）の手配を行うこと。
- (4) 会場及び備品の手配にかかる費用は受託者が負担すること。

8 必要物品の手配

- (1) 受託者は本事業の目的とコンセプトに合わせた看板装飾及び食器等の手配すること。
- (2) 必要となる調理器具等は必要に応じて手配すること。
- (3) 会場での機器の使用に必要な電力は受託者で確保を行うこと。

9 音響及びスクリーン等設備

- (1) 受託者は、必要な音響機器のレンタル、設営を行うこと。
- (2) 会場のBGMについては委託者と協議の上必要に応じて準備を行うこと。
- (3) 進行スクリーン等が必要な場合は手配を行うこと。
- (4) 当日は音響担当者を設け、音響の管理を行うこと。

10 司会者の手配

- (1) イベント当日に進行を行う熊本にゆかりのある司会者を手配すること。
- (2) 司会者とは事前の打ち合わせを行い、原稿等を作成するなど、円滑な進行に努めること。

11 会場の設営、スタッフの手配

- (1) 案内看板等の設置、また来場者や公道の通行者を誘導する担当者を配置し、スムーズな会場運営を行うこと。
- (2) 設営、撤去に必要なスタッフの手配を行い、会場管理者の指定する時間に行うこと。
- (3) イベント終了時には会場を使用前の状態に戻し、清掃等も行うこと。

12 会場及び周辺道路の警備及び参加者の安全確保

- (1) 来場者が、安全に過ごせるよう会場のレイアウトを作成し、通常の交通の妨げにならないように注意すること。
- (2) 会場内及び移動の際の参加者の安全を確保すること。
- (3) 三角西港周辺道路の交通整理及び会場内の警備員を2名以上配置すること。
- (4) イベントの仕様が受託者の提案に応じて変更する場合は必要な人員を手配すること。
- (5) 会場の駐車場整理を行い、必要に応じて規制を行うこと。

13 参加者募集に関する業務

- (1) 参加費の徴収を行うこと。また申込みに当たっての問い合わせ等の対応も併せて行うこと。
- (2) 募集する内容は仕様書P2の想定内容を参考とし提案を行うこと
- (3) 参加が確定した時点で、参加費用を徴収すること。

- (4) 参加費の徴収は、受託者の募集ツールサイトを活用し、イベント当日までに確実に行うこと。
- (5) 購入者が支払いを完了した際は、支払完了の旨を通知すること。
- (6) その他募集に必要な内容があれば委託者と協議の上行うこと。

1.4 交通手段の案内と確保

参加者の移動手段は産交バス、JR 三角線等の利用を推奨すること。
三角駅から会場まで、その他体験コンテンツ会場までの往復の移動手段は必要に応じて委託者がバスを確保するため、参加者への周知を行うこと。

1.5 関係機関との調整及び各種申請手続

- (1) 県、港湾事務所、三角西港指定管理者、関連事業者、警察、保健所、消防等関係機関との連絡調整、問い合わせ及び必要に応じて申請書等の提出を行うこと。
- (2) 飲食を取り扱う上で、食中毒等には細心の注意を払うこととし、事業内で生じた問題について委託者は一切の責任を負わないものとする。
- (3) イベントスタッフを含む参加者を対象としたイベント保険に加入すること。

1.6 その他情報集約・発信

事業実施にあたり、参加者へ近隣の移動手段、宿泊施設等の必要情報を委託者とも協議の上集約し、参加者へと発信すること。

1.7 世界文化遺産登録10周年を記念した装飾

歴史ある埠頭をメインとした光の装飾を行う。装飾は埠頭にキャンドルを並べるなど、三角西港の雰囲気に適したものとし、イベント時に限らず一定期間継続的に見ることができるようにする。

1.8 広報及び宣伝、情報発信に関する業務

- (1) UKI beer port in 三角西港（仮称）のロゴ、イメージを含む広報用のコンテンツを作成すること。
- (2) (1)のイメージをもとに以下の広報ツールを作成すること。
 - ア イベント概要を記載したチラシデータ（バーベキュー等のメニューや体験コンテンツについて、1.6の情報等必要に応じて記載。）
 - イ B2ポスターデータ
 - ウ イベント時参加者へ配布する概要データ及び参加者分の印刷。
 - エ その他イベントの企画に合う形式で委託者との協議の上決定すること。
- (3) 委託者が指定する Instagram アカウントで必要回数情報発信すること。
- (4) 参加者募集に合わせて Instagram で広告を配信すること。

- (5) 各種メディアへのプレスリリースを行うこと。
- (6) 委託者がHPや広報紙、各種メディアにて事業の広報を行う際には、本業務で作成するデータや情報を提供する。

Ⅲ 実績報告及び調査

1 効果測定

- (1) 参加者及び関係者を対象としたアンケート調査を実施し、グラフ化する等して分析を行う。
- (2) アンケートで収集したデータは csv ファイル、Excel ファイル等受託者以外の第三者が分析可能なデータ形式で出力すること。
- (3) アンケート調査の実施時期、方法及び内容については委託者と協議のうえ決定すること。
- (4) アンケートについては、委託者と協議の上、変更することができる。
- (5) 効果測定については、数値項目以外の部分も考慮して総括を記載すること。本事業は以下の内容を目標とし、実施を行うものとする。

ア イベント参加者数 100名以上

イ 宇城市体験コンテンツの造成 2種以上考案

ウ 総合満足度 80%以上

エ 体験満足度 80%以上

オ 三角西港一帯訪問者数+300人/日（開催月）9,000人/月

カ 市の観光 Instagram のフォロワー数 +250人

キ Instagram 広告表示 クリック率 3.19%以上

ク 次年度以降の民間企業によるコンテンツの自走化

2 業務完了報告書、成果品等

本業務の実績報告に係る書類等は以下の表に掲げるものとする。

名称	期限	数量
業務完了報告書（紙媒体）	令和7年12月22日	1部
業務完了報告書（電子データ）	令和7年12月22日	一式
作成媒体サンプル	令和7年12月22日	各1部
作成媒体最終校正データ	令和7年12月22日	一式
撮影データ	令和7年12月22日	一式

3 調査等

- (1) 委託者が必要と認めるときは、受託者に対して本業務の処理状況について聴取、書類提示及び現地確認等により調査し、報告を求めることができる。受託者は正当な理由なくこれを拒むことはできない。
- (2) 前項の結果、改善を要する事項が明らかとなった場合には、委託者は受託者に対してこれを通知し、受託者は速やかに対応し、対応の内容等について委託者に報告しなければならない。

IV 委託料の契約及び支払について

- 1 委託料の契約金額については、運営費と参加徴収費の合計額とする。事業実施にて、参加徴収費確定後に変更契約を行い、確実に精算すること。
 - (1) 運営費について
 - ア 精算払は、成果物の検査を完了し、委託料の確定後に請求しなければならない。
 - イ 前金払は、運営費総額の3割を限度とし、業務の準備等に必要な資金として使用しなければならない。
 - (2) 参加徴収費
 - ア 徴収した代金については、申し込み終了後、コース毎にとりまとめ、金額の実績を委託者へ報告し、その報告した月の月末までに委託者が指定する口座に振り込むこと。

V その他

- 1 守秘義務
 - (1) 受託者及び受託者の管理の下で本業務に従事する者が本業務の遂行上知り得た情報は、別添の個人情報取扱特記事項を遵守し、個人情報が適切に保護されるよう配慮するとともに、本業務の遂行に知り得た情報を本業務遂行の目的以外に使用し、又は第三者に提供してはならない。本業務の契約が終了し、若しくは契約を解除され、又は本業務に従事する職を退いた後も同様とする。
- 2 個人情報等の取扱
 - (1) 受託者が本業務の遂行上知り得た個人情報や法人情報については、受託者の責任において厳重に管理するとともに、ほかの目的への転用等を行わないこと。本業務の契約が終了し、又は解除された場合も同様とする。
 - (2) 本業務完了後に受託者が保有する機器等にデータが残存している場合には、受託者の責任において、確実にデータの破棄を行うこと。
 - (3) 受託者は事業実施にあたり収集する個人情報及び法人情報について、委託者に情報提供することを当事者に事前に説明し同意を得ること。
 - (4) 受託者が事業実施にあたり収集した個人情報及び法人情報は委託者に帰属するものとし、委託者の指示に従い情報提供を行うこと。
 - (5) 受託者は、個人情報及び法人情報の漏洩、紛失、破壊等の事故が発生し、又それらの疑いもしくはおそれがあったときは、適切な措置をとるとともに、速やかに委託者に報告しなければならない。
 - (6) 受託者は、業務の従事者に対し、個人情報及び法人情報保護の徹底について周知しなければならない。
 - (7) 受託者の責に帰すべき事由により委託者又は第三者に損害を与えたときは、委託者は本業務の契約終了もしくは解除に関わらず受託者に対して損害賠償を請求することができる。

3 再委託

- (1) 受託者は、受託業務のすべてを第三者に委託することはできない。
- (2) 受託者は、個別の業務について再委託することができる。ただし、再委託先、再委託する業務項目及び再委託する業務を遂行できると判断できる根拠を委託者に文書で提示し、協議のうえ事前に承認を受けなければならない。
- (3) 前項の規定に関わらず、以下の各号に掲げる業務については、委託者の事前の承諾を必要としないが、委託者から報告を求められた場合には速やかに報告を行うこと。
 - ア 周知媒体の製作、印刷製本等業務の実施にあたり委託者の校正を要するもの
 - イ 人材派遣を受け、受託者が管理する事業所等の区域内において受託者の管理の下、受託業務に従事させるもの
- (4) 受託者は、再委託の相手方との契約関係を明確にしておくとともに、再委託の相手方に対して適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。また、当該仕様書の記載事項の全てについて遵守させなければならない。
- (5) 再委託の相手方は、次の要件を満たしていなければならない。
 - ア 委託者から指名停止措置を受けていないこと。
 - イ 宗教活動又は政治活動を主たる目的としていないこと。
 - ウ 宇城市暴力団排除条例（平成23年宇城市条例第17号）第10条第5項により委託者に提出する誓約書に違反していないこと。

4 著作物の譲渡等

- (1) 受託者は本件業務により設計・構築したシステムや成果物が著作権法（昭和45年法律第48号）第2条第1項第1号に規定する著作物に該当する場合は、当該著作物に係る受託者の著作権（著作権法第21条から第28条までに規定する権利をいう）を当該著作物の引渡し時に委託者に無償で譲渡するものとする。
- (2) 当該著作物のうち受託者が従前より保有する著作権は、受託者が保有し、必要な範囲で委託者に無償で使用することを許諾するものとする。
- (3) 前各項の規定のうち、再委託した業務については、受託者を再委託の相手方と読み替えて適用する。

5 その他

- (1) 再委託や必要資材の購入等については、宇城市内に本店又は支店等を置く事業者からの調達に努めること。
- (2) 受託者は、委託料の対象となる経費の支出状況等がわかる帳簿等を整備するものとし、本業務を完了し、又は中止した日の属する年度の終了後、5年間これを保管しておかなければならない。

- (3) 当該仕様書に定めのない事項、当該仕様書について疑義の生じた事項又は不測の事態の対応等については、委託者と受託者が協議して定めることとする。